



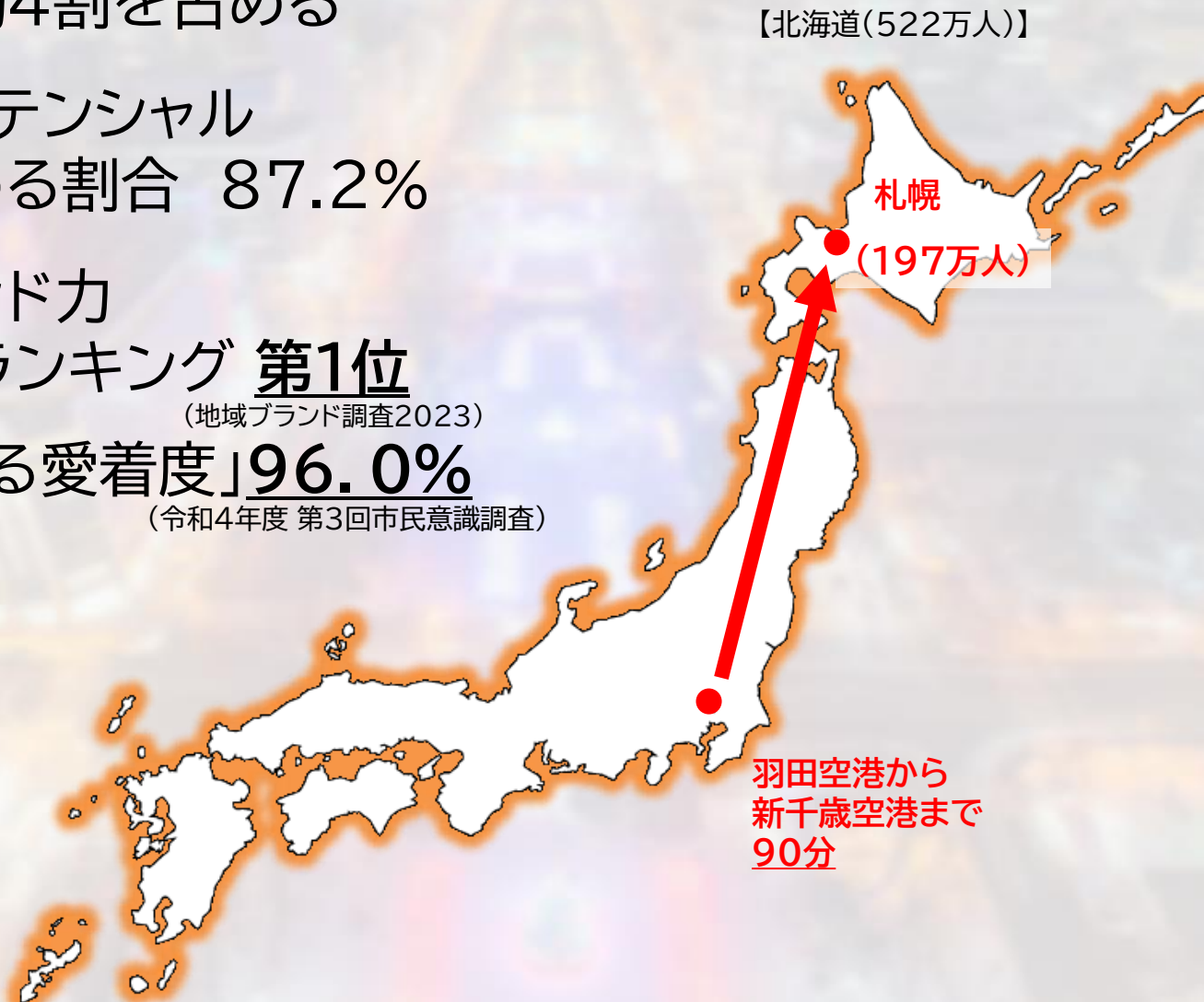
SAPPORO

障がい者DXリスキリング事業

1. 札幌市の概要



- ◆ 人口 約197万人(令和6年11月現在)
北海道の人口の約4割を占める
- ◆ 食・観光の高いポテンシャル
第三次産業に占める割合 87.2%
- ◆ 国内有数のブランド力
 - ・市区町村魅力度ランキング **第1位**
(地域ブランド調査2023)
 - ・「札幌の街に対する愛着度」**96.0%**
(令和4年度 第3回市民意識調査)



2. 札幌市の概要



- ◆北海道内から、人、もの、情報が集結
- ◆近年、IT分野やクリエイティブ分野などの産業が成長
- ◆「GX金融・資産運用特区」の新たな需要
- ◆女性や高齢者の有業率の低さや、一部の産業における人手不足の課題が顕著

- ◆札幌市 IT産業・デジタル社会の推進
- ◆人手不足 障がい者雇用への注目度向上



社会的課題

- ◆デジタル社会に即応するDX人材として障がい者雇用を促進する必要性

3. 寄附者からの事業提案



トランスコスモス株式会社 様



- ◆企業版ふるさと納税による寄附の申し出
- ◆BPO、コンタクトセンター事業における日本のトップランナー
- ◆グループ全体で700人以上の障がい者を雇用
⇒6年連続、法定雇用率を上回る高い雇用実績
- ◆社内におけるDX人材育成のノウハウを拠点のある札幌
の人材育成に活用したい

ソーシャルインパクトの創出

⇒札幌市において障がい者DX人材を育成する事業を提案

札幌市の抱える社会的課題とトランスコスモス株式会社様の
事業提案が合致し企画立案を開始

4. 事業内容



トランスコスモス株式会社様の人材育成ノウハウを
参考に講座内容を構築

対象

札幌市内の一般企業で雇用される障がいのある方
※障がい種別に関わらず参加可能

事業費

12,000千円(全額、企業版ふるさと納税)

定員

各コース10名(上半期・下半期 合計80名)

内容

- ◆ 一般企業の業務に活かせるパソコンスキルを取得
 - ・Excel、PowerPointコース
 - ・Webコース
 - ・デザインコース
 - ・プログラミングコース

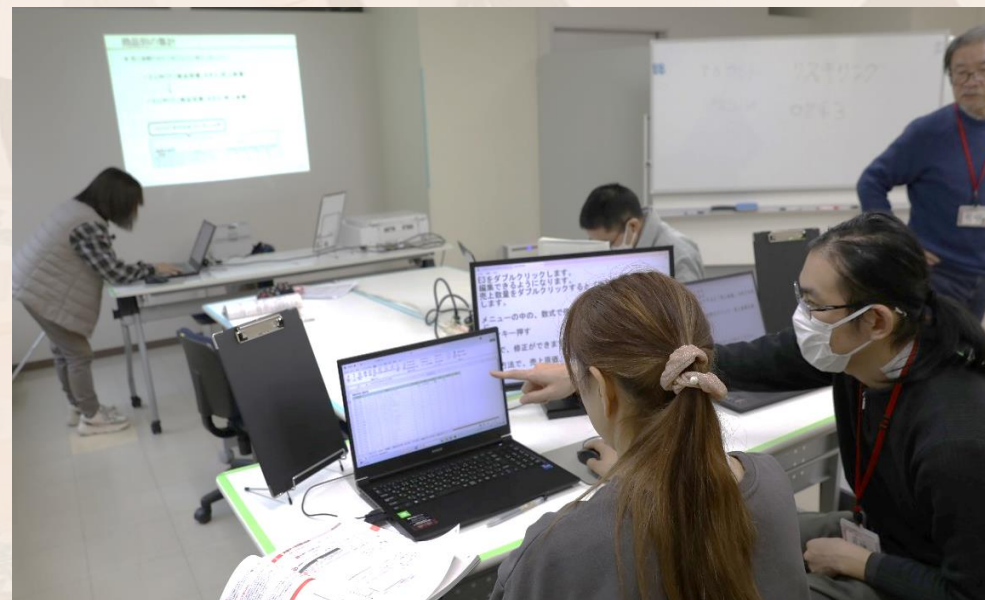
5. 事業内容

通常のスキルアップ研修よりも手厚いフォロー体制

- 理解度に合わせて個別に声掛けをしながら進める
- 参加者の障がい特性に対応するための人員確保

例 聴覚障がいのある方への支援

- ・要約筆記により情報伝達
- ・疑問点に即時対応



参加者の満足度 92%
役に立つと思う割合 96%
⇒OJTと当講座の活用により
企業に欠かせない人材へ

6. 事業推進協議会



札幌市内の障がい者雇用における「DX人材」の
継続的な育成体制の構築を目指す

委員

札幌市内の経済団体
へ協力依頼

検討内容

- 業務に即応する講座内容の検証・検討を実施
- 札幌市内の企業が当事業に参加しやすい体制を検討



HOKKAIDO ECONOMIC FEDERATION

北海道経済連合会



札幌商工会議所

The Sapporo Chamber of Commerce and Industry



北海道中小企業家同友会
札幌支部



transcosmos
people & technology

オブザーバー



NPO法人 mixcom
札幌チャレンジド

事務局



共に歩み 共に感じ 共にひらく

市立札幌みなみの杜高等支援学校

オブザーバー(教育機関)



市立札幌豊明高等支援学校

オブザーバー(教育機関)

7. 今後の展開



障がいのある方のDX人材育成体制を構築

障がいのある方が活躍し、
自分らしく暮らせる共生社会の実現へ